



# ハッピーリリー 岡村通信




  
 埼玉県マスコット「コバトン」 川口市のマスコット「きゅほらん」  
 発行責任者  
 無所属県民会議川口支部岡村ゆり子  
 〒332-0031  
 埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F  
 TEL048-229-0530

Vol. 49 2023. 1

川口市の花は鉄砲ユリです  
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と  
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

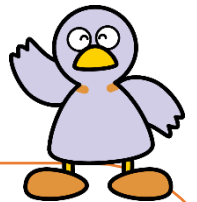
いつもありがとうございます。2023年は卯年です。飛躍、向上の年といわれています。健康第一で、たくさん動いて、大きく飛ぶことのできる一年になるよう頑張ります。さて、今号は12月定例会や県内視察などについてご報告いたします。

## 令和4年12月定例会

埼玉県議会令和4年12月定例会は、12月2日(金)から12月22日(木)まで行われました。

知事から提出された、**129億1,642万8千円**の補正予算は原案通り可決しました。主なものは以下になります。

- ・エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者・県民への緊急支援に関するもの
- ・県議会における情報ネットワークの整備に関するもの
- ・妊娠期から出産・子育てまでの一貫した支援に関するもの
- ・子どもの安心・安全対策の強化に関するもの



### ～所属委員会報告～

#### ○総務県民生活常任委員会

10件の議案を審議し、**個人情報の保護に関する法律施行条例の条例要配慮個人情報の性的指向・性自認の項目について質疑**を行いました。そして、10件の案件の1つに、国から子どもの安心・安全対策事業の補正予算があります。**送迎バスの置き去りを防ぐため、送迎バスへの安全装置の装備や登園管理システム、ICTを活用した見守りタグなどの安全対策機器の導入に係る経費を支援するもの**です。

事業概要  
子供の安全対策として、子供の送迎用バスへの安全装置の装備や登園管理システム、ICTを活用した見守りタグなどの安全対策機器の導入に係る経費を支援する。

1 送迎バスの安全装置改修支援		
	幼稚園	小・中学校等
装備の義務化	有	無
補助額	180千円	100千円
補助率	国10/10	

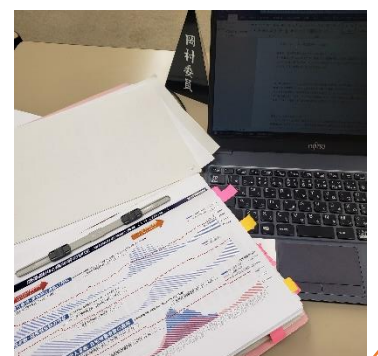
2 登園管理システム等の導入支援 対象施設：幼稚園		
	登園管理システム	ICTを活用した安全対策機器
補助額	700千円	200千円
補助率	国4/5・設置者1/5	

#### ○自然再生・循環社会対策特別委員会

**資源循環社会づくりについて**報告を受け、3Rより一歩進んで、5Rの取り組みを県で進めるべきと考えるがいかかという質疑を行いました。

#### ○新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

- 第8波における感染症対策の現状について**報告を受け、以下質疑しました。
- ・彩の国新しい生活様式安心宣言の内容の見直しについて
  - ・国の通達を受け現在の学校給食の状況と保護者への理解促進について



## 拉致問題早期解決に向けて

12月11日(日)、北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を図る埼玉県議会議員連盟で街頭署名活動を行いました。街頭署名活動は「北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の会(救う会埼玉)」の主催で行われ、377名分の署名が集まりました。

現在、川口市では政府認定拉致被害者が5名いらっしゃいます。川口駅での街頭活動にもこれまで参加してきましたが、前進しないのが現状です。風化させず、声を上げ続けることが大切です。引続き皆さんと活動してまいります。

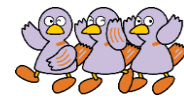


## 会派で会期内視察を行いました

12月15日(木)、所属会派・無所属県民会議で12月定例会の議案に関する県内視察を行いました。川越公園と彩の森入間公園の2カ所で、共に敷地が広く自然豊かでした。

川越公園は、様々な種類のプールやテニスコート、フットサル場、ドッグラン、フィットネスジムなどがあり、平日でしたが多くの方々が楽しまれていました。来場者の推移や冬場のプールの活用法など知ることができました。

彩の森入間公園は、水辺のある公園として親しまれており、埼玉県と姉妹都市を結んでいるオハイオ州の公園のような作りになっているとのことでした。花壇の植え替えやイベントの開催など地域のボランティアの方々と一緒にっており、市民参加型の公園運営を行っていると感じました。



## 県公式LINEの活用

県内の施設・店舗などでお得なサービスを受けることができる「パパ・ママ応援ショップ優待カード」と「まいたまパス」が県公式LINE「埼玉県庁」から利用できるようになりました。

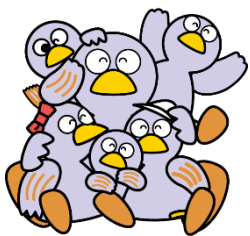
「パパ・ママ応援ショップ優待カード」の利用対象者は以下になります。

・県内在住、在園または在学中で、18歳に達して次の3月31日を迎えるまでのお子様がいる世帯の方

・妊娠中の方がいる世帯の方

※同居別居に関わらず、日ごろ子育てを支援してくれる祖父母の方も利用可

※店舗により、特典を受けられる方が限られている場合があります



読み込んでください➡



## 国への意見書

任期をいただいた最初の定例会の令和元年6月定例会から令和4年12月定例会まで、国への意見書を毎定例会会派で提案してきました。国に地方の課題を知ってもらいたい。法改正してほしい。財政的な支援をしてほしいなどの想いで、毎回提出に向けて作成してきました。会派として66本、うち私は19本作成・提案しました。

「新規就農者確保・育成を求める意見書」

「新型コロナウイルス感染症対策の更なる強化を求める意見書」

「児童養護施設退所後の支援の充実を求める意見書」

「不登校児童生徒への更なる支援を求める意見書」

「わいせつ行為で処分された教員に免許再交付を認めないことを求める意見書」

「更年期症状・障害に関する施策の推進を求める意見書」

「児童相談所設置に向けての人的・財政的支援を求める意見書」

など、日頃から課題意識を持っているものやご要望をいただいたものなどについて作成してきました。

県議会として通らないことが多いですが、あきらめずに継続していきたいと思っております。